

平成30年度決算

決算とは 歳入歳出予算に基づく収入と支出の計算書であり、予算執行でどのような成果があったかを示す成果報告書です。予算が適正に執行されたかどうかを審査し、住民に代わって行政効果を評価するもの。

一般会計 賛成6 反対7 で不認定

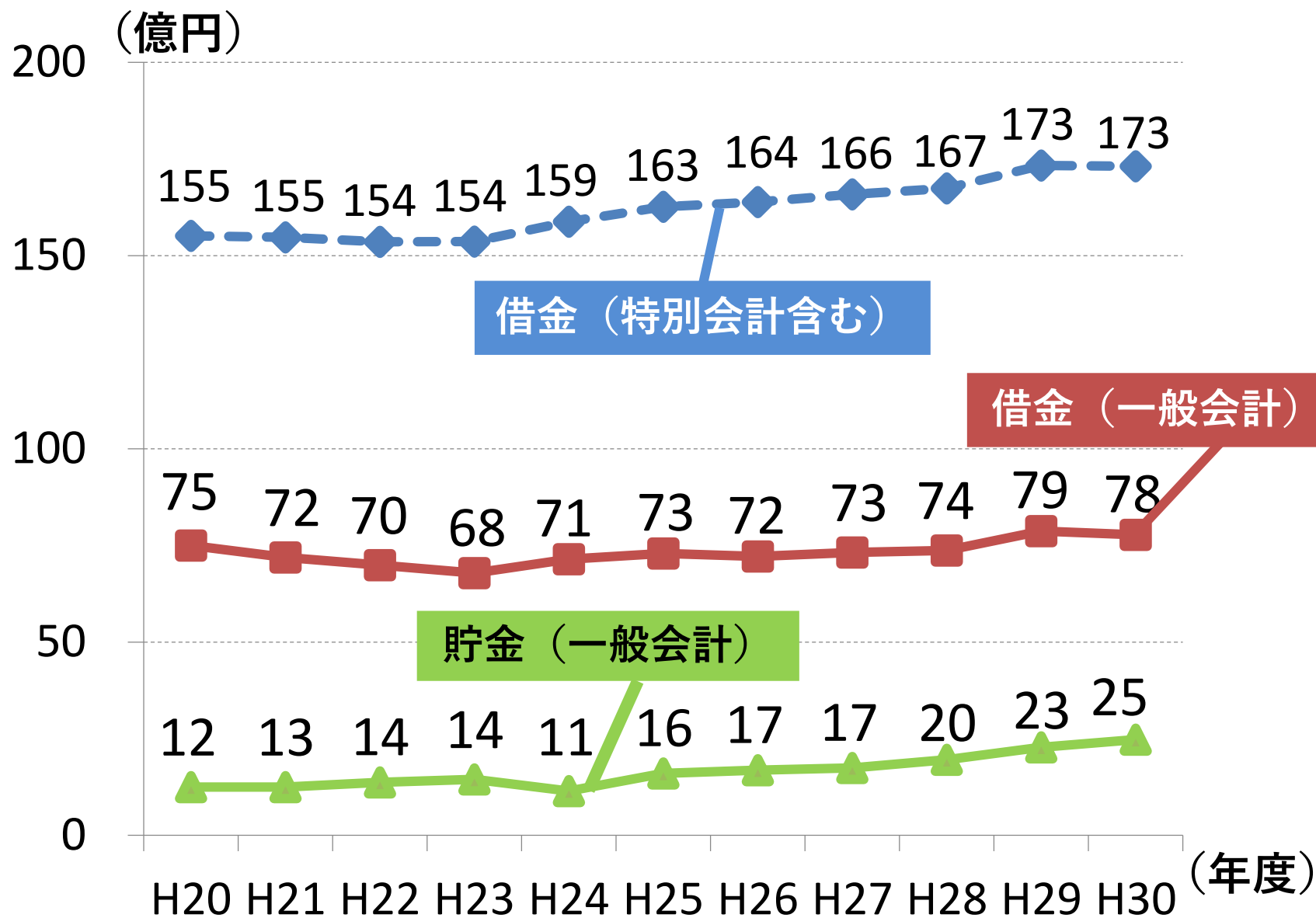
4 特別会計 賛成多数で認定

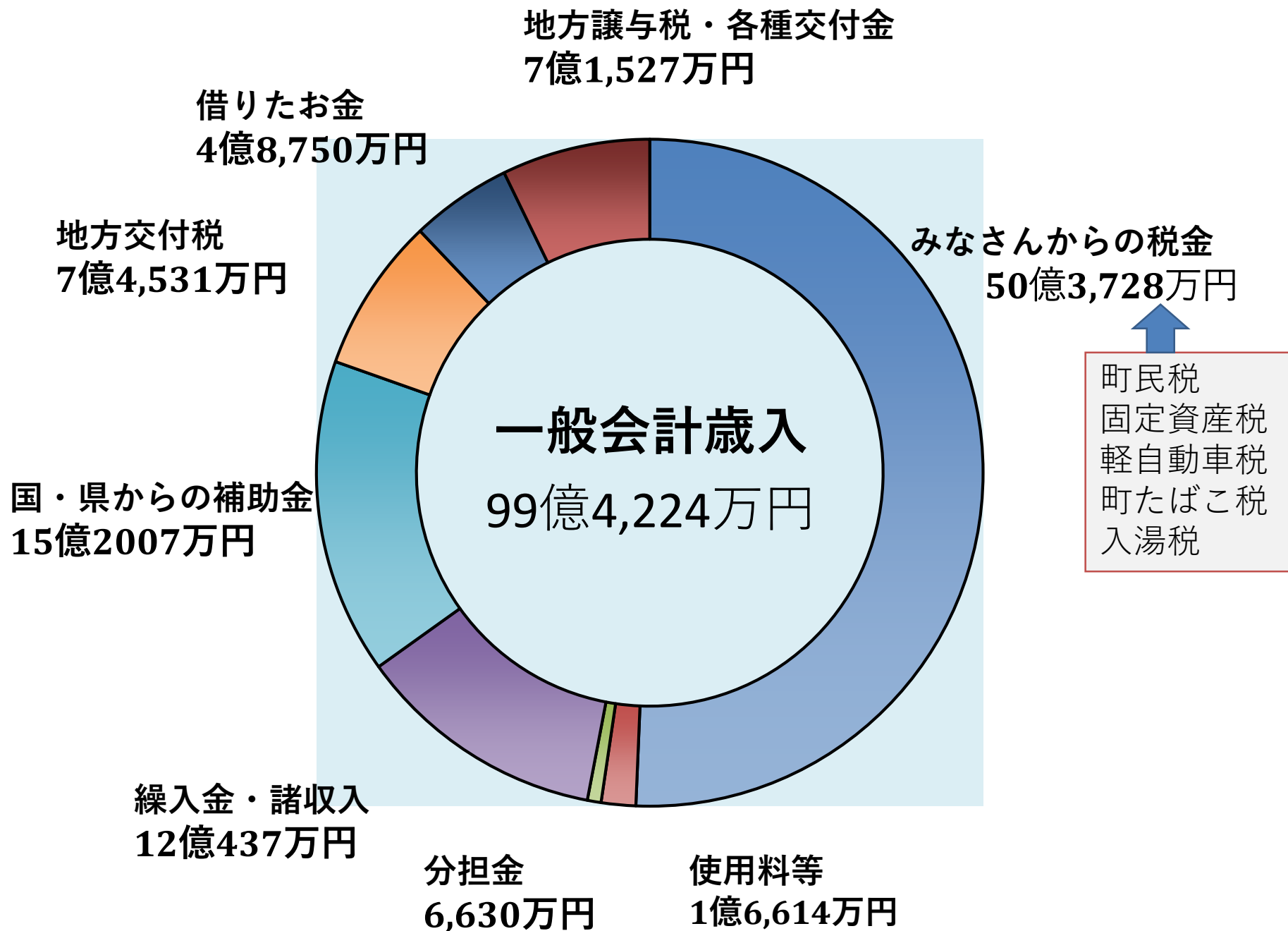
平成30年度各会計決算

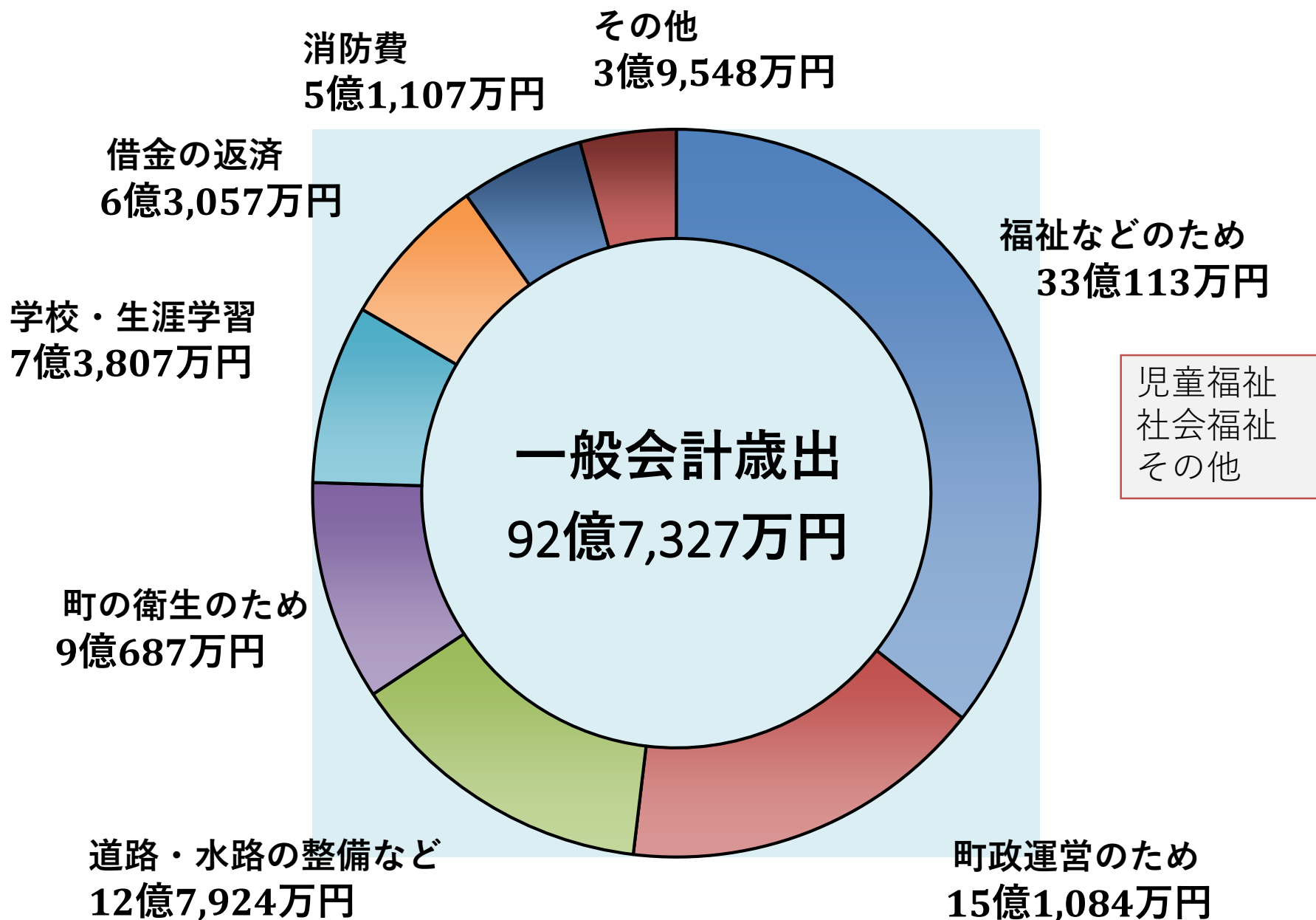
会計別	歳入	歳出	差引額
一般会計	99億4,224万円	92億7,327万円	6億6,897万円 (6億980万円)
国民健康保険事業特別会計	39億7,337万円	39億2,178万円	5,159万円
後期高齢者医療特別会計	9億9,257万円	9億7,448万円	1,809万円
介護保険事業特別会計	30億9,227万円	28億5,440万円	2億3,787万円
下水道事業特別会計	18億9,060万円	18億2,306万円	6,754万円

歳入合計 198億9,105万円 歳出合計 188億4,699万円

借金残額と貯金残高







こんなことに使いました

マリア道の整備

6,670万円



自転車駐輪場の運営

1,750万円



みなとオアシス事業の推進

1,517万円

旧吉田邸関連事業

3,396万円



観光案内板32基設置

984万円

中学校給食調査委託

1,024万円



東部子育て支援センター

1,766万円

明治記念大磯邸園事業



反対討論

住民の生活に直結するサービス等の予算が少ない。

大規模事業ではなく身近な町民サービスの向上のために税金を使うべき。

観光事業に特化している。

借金返済のために借金をする危険な兆候。

町民生活に密着な要望が先送りされ、大型事業が執行された。

賛成討論

自主財源比率が前年度より増加した。

妊娠から就学までの子育て支援、待機児童解消の積極的な試みを評価する。

予算は適正に執行された。

歳入の根幹である町税の収納率が1.3ポイント向上した。

中学校給食実現のための動きを評価する。

今後の事業執行と来年度予算編成に向けて

決算特別委員会から 8 項目の審査意見を提出

1. 町税等の徴収体制の更なる強化を図られたい。
2. 町職員の適正な時間外勤務手当の支給を検討されたい。
3. 生活道路等の維持管理費不足の解消を図られたい。
4. 子ども向け遊具・砂場など、公園等の維持管理費の充足を望む。
5. 生活環境美化のため、ごみ集積場所の環境整備の向上を図られたい。
6. 幼児教育・保育の質の確保のために、職員の処遇改善を望む。
7. 教育委員会所管施設の修繕料の拡充を図られたい。
8. 課題を抱える児童・生徒への支援、相談体制の強化を望む。